

事業番号	267
------	-----

平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	都市景観整備事業						担当部	都市建設部							
	会計区分	一般会計			事業類型	施設整備系		担当課	都市政策課							
	事業期間	平成13年度			～		平成30年度以降			担当係	計画係					
	総合計画 分野別計画	主目的	5 都市基盤		22 市街地整備		5 中心市街地の景観を整備する									
		副目的														
	予算区分	款	8		項	4		目	1		大	3		中	1	
	根拠法令・個別計画	小牧市都市景観条例、都市景観基本計画、小牧市サイン計画														
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	60 %			委託	39 %			助成	1 %					
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	小牧市を魅力ある美しいまちとすることを旨とし、小牧市都市景観条例、小牧市都市景観基本計画に基づき、景観形成の整備等を進める。														
	内容 (手段)	<p>○23年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市景観団体等への助成 小牧市都市景観条例第23条に基づき都市景観団体(1団体)へ活動費の助成を行った。(補助金:150千円) ・違反広告物除去 まちの美観を確保する活動として、違反屋外広告物の確認作業を直営で行い、除去業務を委託(委託料:367千円)し、併せて、ボランティア3団体による違反簡易屋外広告物の除去を実施。 ・サイン標識の維持管理 小牧市サイン計画に基づくサイン標識点検方針を作成し、13年度に設置したサイン標識10基の点検委託を実施した。(委託料:283千円) ・都市景観形成の施策検討 都市景観形成の施策検討のため、景観現況調査を委託し、現況調査やアンケートを実施した。(委託料:3,097千円) <p>【直接経費の内訳】 都市景観団体補助金(150千円)、違反広告物除去委託料(367千円)、サイン標識点検委託料(283千円)、景観現況調査委託料(3,097千円)、消耗品費・手数料・保険料等(634千円)</p> <p>○24年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記の業務に加え、サイン計画に基づきサイン標識2基設置する。 														
受益者負担	無															

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	12,477	20,239	4,531	17,931	
		正職員	従事者数	人	1.10	1.10	0.95	1.00
			人件費	千円	5,850	5,850	5,053	5,319
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計	千円	18,327	26,089	9,584	23,250	
	対前年比	%		142.3	36.7	242.5		
財源	一般財源	千円	15,287	26,089	9,584	23,250		
	国・県支出金	千円	3,040	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	サイン設置個数	基	目標		4	4	0
実績				6	4	0	
サイン標識点検委託数	基	目標		—	—	10	5
		実績		—	—	10	
違反屋外広告物除去ボランティア団体	団体	目標		4	4	3	3
		実績		4	3	3	
績	成果指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	サイン設置総数	基	目標		56	62	62
実績				58	62	62	
簡易違反屋外広告物除去数	枚	目標		—	—	—	—
		実績		820	991	473	

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	<p>事業の達成状況</p> <p>ボランティア団体と協力した違反広告物の除去活動及び小牧市都市景観形成重点区域(やすらぎみち)における景観団体への活動助成など概ね予定どおりの実施と成果を上げることができた。また、サイン計画に基づきサイン標識点検方針を作成し、13年度に設置したサイン標識10基の点検を行った。 現況調査及びアンケート調査を実施し課題の抽出・整理を行い、24年度に実施する景観形成施策検討のための下準備を行った。</p>
	事業実施における課題等	違反屋外広告物除去のボランティア団体数の増加を目指し、行政として先導的な役割を示す必要がある。
	事業を縮小・廃止したときの影響	違反広告物除去活動やサイン計画に基づくサイン設置や維持管理等ができず、景観を損ねる要因を除外できなくなり無秩序な景観となる。
今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持
	判定理由	景観形成団体等の助成、違反屋外広告物の除去及びサイン標識の設置・維持管理については引き続き実施する。なお、ボランティア団体の活動促進等を図る必要がある。
	改善案等	これまでの取組みを基に、小牧市景観基本計画の改定、景観法に基づく景観基本団体への移行など将来景観ビジョンを探りながら、これからの景観形成の施策検討を行う。

二次評価	方向性の判定	判定理由
	現状維持	一次評価のとおり。